

教 育
— 2016年度 —

1. ガーデニング入門

2016年度第2学期（教養教育科目）・選択・1単位

履修者：42名

担当教員：後藤・吉田・嶋・福田

実施場所：岡山農場 他

回数	月日	内容	講義, 実習	担当教員
1	6月15日	ガイダンス, ガーデニング, 花育とは		後藤
2	〃	花壇用植物の紹介		〃
3	6月22日	繁殖方法（種まきと挿し木と接木）		後藤
4	〃	花壇用培養土の説明		〃
5	6月29日	ガーデニングに適した野菜の紹介Ⅰ		吉田
6	〃	ガーデニングに適した野菜の紹介Ⅱ（FSセンター圃場の見学）		〃
7	7月6日	野菜の栄養と施肥管理		吉田
8	〃	果菜類の栽培管理（着果習性と整枝）		〃
9	7月13日	ガーデニングへの利用からみた落葉果樹類の特徴		福田
10	〃	ガーデニングへの利用からみた常緑果樹類の特徴		〃
11	7月20日	実を实らすための栽培技術		福田
12	〃	果樹における翌年の実りに向けた取り組み－剪定や土づくり		〃
13	7月27日	日本庭園の歴史, 様式と構成要素		嶋
14	〃	造園用樹木の特性と識別		〃
15	8月3日	造園用樹木の取扱いと植栽		嶋
16	〃	まとめ		〃

本年度より講義主体の科目内容に変更し、一部の時間帯にセンター圃場で栽培中の野菜・果樹、キャンパス内の樹木の見学を取り入れた。受講者数の制

限を70名に緩和したが、抽選後の辞退者が多く履修学生は42名にとどまった。

2. 1年次総合農業科学入門

2016年度前期（専門基礎科目）・必修・2単位

履修者：121名

担当教員：齊藤

実施場所：岡山農場・津高牧場

5/24, 5/31の2日間、同演習を履修した学生を2グループに分け、山陽圏フィールド科学センターの紹介と岡山農場（齊藤・吉田・福田）を見学

した後、大型バス2台で移動し、津高牧場（舟橋・揖斐）の見学を行った。

3. 1年次農場体験実習（中四国連携フィールド演習：晴れの国岡山農場体験実習）

2016年度前期・夏期集中（宿泊）・専門基礎科目・選択・1単位

（農学部生以外の学生にとっては教養教育科目となる）

履修者：農場体験6名（岡山大法1名，経1名，理3名，医1名，就実1名，ノートル1名），晴れの
 国岡山20名（鳥大4名，広大6名，山大3名，愛大4名，香大2名，高大1名）
 実習担当教員：齊藤，吉田，舟橋，福田
 技術職員：谷岡・宮地・近藤・山本・酒井・野久保・青山
 実施場所：岡山農場・津高牧場

9月26日（月） 時刻 実習項目	9月27日（火） 時刻 実習項目	9月28日（水） 時刻 実習項目
10:30-12:00 センター紹介	6:45- 7:30 牧場管理	6:45- 7:30 牧場管理
12:00-13:00 昼食	7:30- 8:30 朝食	7:30- 8:30 朝食
13:00-15:00 野菜の管理	9:00- 9:30 移動（岡山農場）	9:00-11:00 草地の管理
15:15-15:45 移動（津高牧場）	9:30-12:00 果樹の管理	11:30-12:00 移動（岡山農場）
16:00-17:00 牛舎実習	12:00-13:00 昼食	12:00-13:00 昼食
18:30-19:30 夕食	13:00-15:00 果樹の収穫	13:00-15:00 稲刈り
	15:15-15:45 移動（津高牧場）	15:00-15:30 レポート作成
	16:00-17:00 牛舎実習	16:00 解散
	18:30-19:30 夕食	

コンソーシアム岡山構成大学（就実大学・ノートルダム清心女子大学）から2名の履修があった。岡山大学4学部合計6名の履修があったが，教養科目として単位取得目的の学生がみられた。中四国フィールド演習科目として履修の募集を行ったが，

52名の応募があり，履修志望理由により，20名を選抜した。稲作・野菜・果樹・畜産と様々な農業の側面にふれることができ，他大学の学生と交流ができたこと，受講生の評価も高かった。宿泊で生活を共にし，学生・教員間の親睦が深まった。

4. 2年次フィールド基礎実習

2016年度前期1・2学期（専門基礎科目）・選択必修・1+1単位

履修者：60名

実習担当教員：齊藤 他

技術職員：野久保・近藤 他

実施場所：岡山農場他

履修者を第1班と第2班に二分して，以下の内容で実習を行った。

第1班

回	月 日	実 習 項 目	担当教員・技術職員
フィールド基礎実習－1（1班）			
1	4月4日	オリエンテーション・キクの挿し芽と定植	齊藤，福田，後藤，野菜・花き
2	4月11日	果菜類の定植（スイカ）	吉田，野菜・花き
*3	4月18日	草地管理	舟橋，畜産
4	4月25日	農業用ロボットによる省力作業	門田
		果菜類の定植（ピーマン・カボチャ）	田中，野菜・花き
*5	5月2日	和牛の管理	舟橋，畜産
6	5月9日	サツマイモの定植	安場，野菜・花き
		モモの摘果	福田，果樹
7	5月16日	果菜類の管理	吉田，野菜・花き
8	5月23日	タマネギの収穫	田中，野菜・花き

		水稻播種	齊藤, 水田
フィールド基礎実習－2 (1班)			
1	6月6日	<u>オリエンテーション／果実の植物ホルモン処理</u> バレイショの収穫	齊藤, 森永, 果樹 齊藤, 野菜・花き
2	6月13日	ブドウの摘粒	平野, 果樹
* 3	6月20日	花き栽培施設の見学	後藤
* 4	6月27日	水田管理	齊藤, 水田 (八浜)
5	7月4日	果菜類の管理 カキの摘果	吉田, 野菜・花き 平野, 果樹
6	7月11日	<u>ネギの定植</u> <u>モモの接ぎ木</u>	吉田, 野菜・花き 福田, 果樹
7	7月25日	<u>モモの収穫</u> <u>スイカの収穫</u>	平野, 果樹 吉田, 野菜・花き
8	7月29日	果菜類の管理／アンケート, 片づけ他	吉田, 野菜・花き, 齊藤

下線の実習は, 1班と2班の合同実習である。*太字の日程は学バスにより移動。

第2班

回	月 日	実 習 項 目	担当教員・技術職員
フィールド基礎実習－1 (2班)			
1	4月4日	<u>オリエンテーション・キクの挿し芽と定植</u>	齊藤, 福田, 後藤, 野菜・花き
* 2	4月11日	草地管理	舟橋, 畜産 (津高)
3	4月18日	果菜類の定植・管理 (ナス)	吉田, 野菜・花き
4	4月25日	<u>農業用ロボットによる省力作業</u> <u>果菜類の定植 (ピーマン・カボチャ)</u>	福田, 果樹 吉田, 野菜・花き
5	5月2日	モモの摘果	安場, 野菜・花き
6	5月9日	果菜類の管理 サツマイモの定植	齊藤, 水田 吉田, 野菜・花き
* 7	5月16日	和牛の管理	齊藤, 野菜・花き
8	5月23日	モモの袋かけ <u>水稻播種</u>	森永, 果樹 吉田, 野菜・花き
フィールド基礎実習－2 (2班)			
1	6月6日	<u>オリエンテーション／果実の植物ホルモン処理</u> タマネギの収穫	齊藤, 森永, 果樹 田中, 野菜・花き
* 2	6月13日	一宮選果場・のぞみふぁーむ見学	福田・吉田
3	6月20日	ブドウの摘粒 果菜類の管理	平野, 果樹 吉田, 野菜花き
4	6月27日	カキの摘果	平野, 果樹
* 5	7月4日	水田管理	齊藤, 水田 (八浜)
6	7月11日	<u>モモの接ぎ木</u> <u>モモの収穫</u>	吉田, 野菜・花き 福田, 果樹
7	7月25日	<u>スイカの収穫</u> <u>アンケート, 片づけ他</u>	平野, 果樹 吉田, 野菜・花き
8	7月29日	ブドウの管理／アンケート, 片づけ他	福田, 果樹, 齊藤

下線の実習は, 1班と2班の合同実習である。*太字の日程は学バスにより移動。

5. 農家体験実習

2016年度第2学期集中（専門科目）・選択・全学開放科目・2単位

履修者：13名

担当教員：吉田，福田

農家体験実習については，2016年度も引き続き岡山市東区西隆寺の石原果樹園，北区御津吉尾の（有）スコレーおよび蒜山高原の高畠農園（トマト），山田農園（有機野菜栽培）に委託して4泊5日の宿泊実習を実施した。農学部2年生13名が履修した。

開講にあたっては，学生と受入先農家の日程等に関する調整を行い，夏季休暇中の8月上旬から下旬にかけて蒜山高原，9月上旬から下旬にかけて石原果樹園と（有）スコレーに泊まり込んで実習に励んだ。受講生は受入先農家で野菜・果樹の栽培管理だけでなく，農家の直営販売所などでの販売や地域の直売

所への集荷にもかかわり，学内の授業科目では得られない貴重な経験を積むことが出来た。なお，学生には連絡ノートを配布し，毎朝健康状態をチェック出来るように配慮し，実習中における作業内容や感想を記録するように指導した。連絡ノートの記録から受講生が充実した体験を重ねていたことがうかがえた。これまで同様に，受け入れ農家の全面的な協力により，事故なく無事に実習を終えることができた。農家の学生に対する評価は高く，次年度も引き続き受け入れていただける見込みである。

6. 2年次フィールド実習Ⅰ－1，2・継続栽培（イチゴ・ハウレンソウ）

2016年度後期（専門科目）・選択・各1単位

履修者：25名

担当教員：吉田 他

技術職員：野久保 他

継続栽培担当教員：吉田

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実 習 項 目	担当者
フィールド実習Ⅰ－1			
1	10. 3	オリエンテーション，ハウレンソウの播種	吉田，齊藤
2	10.17	水稻収穫	齊藤，水田
3	10.24	畜産関連施設の見学	舟橋
4	10.31	果菜類の管理 カキの収穫・脱渋	吉田，野菜・花き 福田，果樹
5	11. 7	サトイモの収穫	齊藤，野菜・花き
6	11.14	タマネギの定植	田中，野菜・花き
7	11.21	水稻収量調査 キクの芽かき	齊藤，野菜・花き 後藤，野菜・花き
8	11.28	草地の管理	舟橋，畜産
フィールド実習Ⅰ－2			
1	12. 5	イチゴの管理，ハウスレタス定植	吉田，野菜・花き
2	12.12	和牛の管理	舟橋，畜産

3	12.19	漬け物加工	吉田, 野菜・花き
4	1.16	ブドウの剪定草地の管理	舟橋, 畜産
5	1.23	農業用機械の構造と操作	難波
6	1.30	モモの剪定	福田, 果樹
7	2. 6	ナスの播種	吉田, 野菜・花き
8	2. 9	餅つき, アンケート, 片づけ	吉田

専門分野ごとの個別実習に加えて、栽培実習としてイチゴの栽培管理を継続して実施するとともに、学生に3㎡程度の区画を割り当ててダイコン、コマツナ、カブ、ホウレンソウなど秋野菜の栽培を行わせた。今年度からの4学期制導入に伴い、他の実習と同様に学期ごとに8回の実習1と2に分割して実施した。ただし、継続性が重要であることが認めら

れ、来年度からは従前どおり学期またぎの2単位の科目として開講することになった。また、技術部の積極的な協力によって最終回に「餅つき」を行うことができた。家庭で杵と臼を使った餅つきを体験する機会がほとんどなくなった学生にとって、農耕儀礼の一端を経験する良い機会になった。

7. 3年次フィールド実習Ⅱ－1, 2

2016年度前期（専門科目）・選択・各1単位

履修者：14名

担当教員：福田・齊藤・吉田

技術職員：近藤 他

実施場所：岡山農場 他

回	月 日	実習項目（前半／後半）	担当教員
フィールド実習Ⅱ－1			
1	4. 5	野菜 スイカ接木・メロン整枝 果樹 ビワの摘果	吉田／福田
2	4.12	作物 エダマメ・スイートコーン播種・定植	齊藤／福田
3	4.19	果樹 ブドウの芽かき	福田／吉田
4	4.26	野菜 スイカ定植・メロン整枝 果樹 モモの予備摘果	吉田／福田
5	5.10	作物 サトイモ定植	齊藤／吉田
6	5.17	果樹 ブドウの枝管理・カキの摘花	福田／吉田
7	5.24	野菜 ナス・スイカの整枝 果樹 モモの予備摘果	吉田／福田
8	5.31	作物 バレイショ収穫	齊藤／吉田
フィールド実習Ⅱ－2			
1	6. 7	果樹 ブドウのGA処理	福田／吉田
2	6.14	作物 水稻機械移植	齊藤／福田
3	6.21	野菜 ナス・ピーマン・スイカの整枝	吉田／福田
4	6.28	果樹 ブドウの摘粒・果樹の薬剤散布	福田／吉田
5	7. 5	作物 水稻生育調査・畑地雑草防除	齊藤／吉田
6	7.12	果樹 モモの予備摘果	福田／吉田
7	7.19	野菜 イチゴ挿し苗	吉田／福田
8	7.26	収穫祭(エダマメ・スイートコーン・スイカ・ブドウ・モモ) アンケート・片づけ	齊藤／吉田／福田

今年度は60分授業化し、時間割が変わって14時スタートとなったため、主実習や継続栽培などの時間帯が組み替えて進めた。また第1学期と第2学期

とに分かれたが、様々な作物で栽培の継続性をみる必要があるため、学期またぎ科目としてもらえるように依頼した。

8. 3年次牧場実習

2016年度前期集中（専門科目）・選択・単位互換実習・2単位

履修者：29名（岡山大学9，島根大学1，鳥取大学5，その他14）

担当教員：舟橋

技術職員：野久保，青山

実施場所：津高牧場

回	月 日	実 習 項 目	担 当 者
1	9. 5		
	12:00 - 12:30	開講式	舟橋
	12:30 - 13:15	バス移動	
	13:15 - 14:00	諸注意・見学	舟橋
	14:00 - 15:15	畜舎における実習方法	舟橋・野久保・青山
	15:15 - 16:45	畜舎実習	野久保・青山
	17:00 - 18:15	和牛の遺伝性疾患	国枝
2	9. 6		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	直腸検査の基礎と応用	木村，山本
	13:00 - 15:30	人工授精と受精卵移植の基礎	舟橋・若井
	15:30 - 16:30	畜舎実習	野久保・青山
	17:00 - 18:15	和牛の改良	揖斐
3	9. 7		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	草地の管理	舟橋
	13:00 - 15:30	飼料の貯蔵と利用	西野・鶴田
	15:30 - 16:30	畜舎実習	野久保・青山
	17:00 - 18:15	21世紀の畜産経営	横溝
4	9. 8		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	和牛の審査	櫻井（高知県畜産会）
	13:00 - 15:30	和牛の衛生管理	齋藤・畑生
	15:30 - 16:30	畜舎実習	野久保・青山
5	9. 9		
	8:30 - 9:00	畜舎実習	野久保・青山
	9:00 - 11:30	乳の加工と検査法	森田，荒川
	13:00 - 14:30	実習レポート・アンケート	舟橋
	14:30 - 15:30	清掃・帰り支度	
	15:30	閉講式，バス移動後解散	

今年度の牧場実習は、岡山大学をはじめ中四国の国公立9大学からの参加者を合わせて29名の人数で実施した。実習終了後の実習に対する感想文には、実習に対する満足度が高かった。本年度は、本学か

らの受講生が他の実習と重なったため、若干参加人数が少なかったが、牧場での学習および生活を通して、他大学の学生間で親睦も深めることができた。

9. 共同利用実習

今年度は、中国学園大学から辞退の申し出があり、くらしき作陽大学食文化学部現代食文化学科のみとなった。「地産地消実習」の一環として48名を対象にフィールド科学センターで実際に作物に触れるための共同利用実習を8月8日に実施した。大規模な農地で、野菜や果樹を中心に、実際に栽培している

ところを見ることができ、また生産物試食を行うことで、栽培の環境や技術の重要性を伝えることができた。

講義 肥料について・モモの特徴

実習 野菜の播種、ブドウの枝管理
果実の食味試験

10. 岡山大学教育学部附属特別支援学校「高等部農耕班 校外作業学習」

履修者：11名 教育学部附属特別支援学校高等部1～3年生 農耕班

担当教員：吉田・後藤・安場・田中・福田

技術職員：宮地・谷岡

実施場所：岡山農場 他

実施日（概ね10時～11時10分）	学習作業内容	出席者
5月10日(火)	ペチュニア鉢上げ	1～3年生11名，教員4名
6月7日(火)	ペチュニア定植	1～3年生11名，教員3名
6月19日(火)	ブドウ整枝，除草	1～3年生10名，教員4名
10月4日(火)	パンジー鉢上げ	1～3年生11名，教員3名
11月8日(火)	パンジー定植	1～3年生11名，教員3名
11月29日(火)	タマネギ定植	1～3年生11名，教員4名

今年度も引き続き、本部棟南側駐車場の花壇と本部棟玄関脇花壇の整備を中心に校外作業学習を実施した。苗の鉢上げ、定植、除草などの作業を行った。

特別支援学校教員の指導に加えて農学部学生・大学院生の協力もあり、様々な作業を通じて効果的な学習を実施することができた。